

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターやわた		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年2月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりのお子さんの個別支援計画を意識したきめ細かな支援を実施しています。	配置基準より多く職員を配置して、より細やかな支援が提供できるようにしています。 また、専門職も配置しており、専門的支援(個別指導)を全利用者に週1回程度実施しています。	毎日のミーティング等で挙げた気になる点や、お子さんの成長等について、次の支援や対応を検討して、タイムリーに対応出来るようにします。 専門職とも更に連携を図り、科学的な根拠に基づいた支援の提供に努めます。
2	職員のスキルアップに力を入れています。	育成計画に沿った段階別研修や、職員の職務内容や適性に合わせた外部研修に積極的に派遣しています。 また、所内でケーススタディやビデオ分析等の勉強会を行い、実践力の向上にも取り組んでいます。	一昨年に作成した育成計画をより効果的なものにするため、研修の確実な実施と見直しを行います。 外部研修に派遣した職員には、伝達研修を行ってもらうことで、研修で得た知識や技術の理解をより深めるとともに、事業所全体で学びを共有していきます。
3	家族支援、地域支援に力を入れ、様々な機会を設けるようにしています。	月1回程度は行事や面談を実施して、お子さんの様子や発達、悩み事についてお話を伺い、ご家族と情報を共有し、連携を図っています。 地域貢献事業(おもちゃ図書館)や、地域の保育園を招待してイベントを開催して、インクルージョンの推進を図っています。	現在はグループ指導の情報共有や参観が主ですが、個別療育(専門的支援)の様子を見てもらったり、専門職に直接フィードバックしてもらう機会を設けて、お子さんの理解を深めてもらえるようにします。 課外活動を増やしたり、教室行事に招待する回数を増やして、地域交流の場を積極的に設けるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の建物や設備が経年劣化してきているため、使い難さや建付けの不具合が生じてきています。	設置してから、10年以上経っているため、こまめにメンテナンスはしているが、大規模な補修が出来ていません。	建具や建付けの使い難さが生じている箇所については、今後大規模な修繕が必要だと考えています。また、外壁についても、塗装の黒ずみやクラック等の点検を行い、補修のタイミングを検討します。
2	施設内で過ごす時間が多く、あまり外で遊ぶ機会がもてていません。	敷地内の芝生広場が少し離れていたり、広すぎたりして、気軽に出にくい状況でした。 近隣の公園は、利用児童の発達段階に合っていない(難しい遊具が多い、フェンスや柵がなく飛び出しの危険があるなど)ため、遊びに行くのを躊躇いがちでした。	外遊びをする人数や子どもの遊び方に合わせて、活用できる公園や遊び場を探していきます。今後は、お子さんが分かりやすいルールづくりや、安全対策を行うようにして、外遊びの体験の機会をより多く設けるようにします。
3	同じ遊びでも、遊び方を工夫して、お子さん達が楽しめるようにはしていますが、活動の枠組みはパターン化しがちです。	活動内容の検討は、その日のリーダーが担うことが多く、グループの職員全員で意見を出し合う時間が持ち難い状況です。 パターン化することで、お子さんが見通しを持ちやすいというメリットがありますが、その反面飽きも生じるというデメリットもあります。	活動内容を検討する際に、既存の枠組みの中で出来ることを考えるだけでなく、同じグループの職員同士で話し合いを行ったり、グループ同士でも意見や提案をすることで、様々な遊びや要素を取り入れるようにします。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日 2026 年 3 月 4 日

利用
児童数 18名

回収数 11

事業所名	こども発達支援センターやわた
------	----------------

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1	0	0	・運動スペースは、こどもが走り回るゆとりがあり、良いと思います。 ・生活全般の空間が分けてあり広く清潔でした。 ・体を動かすスペースは広く、座学のスペースも広すぎず目の届く広さになっている。 ・建物も古く少し狭いようにも感じる。(狭いと落ち着く子も多そうなので悪い事ばかりではないと思う)	部屋の使い方を工夫しながら、お子さん達がのびのび過ごせるようにしていきます。建物も少しずつ古くなってきているので、必要に応じて改修工事を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	0	・パートの先生もいらして、とても手厚いと思います。 ・今年度、更に職員さんが増えて嬉しかった。	今後も一人ひとりのきめ細かな支援が出来るよう、基準配置よりも多く職員を配置出来るよう努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0	・運動スペース、食事スペース、遊びの空間まで清潔で安全に過ごせるようにみえました。	引き続き、清掃や整理整頓を徹底し、お子さん達が心地よく過ごせるようにします。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0	・見通しがもてないと不安になりやすい子どもの特性を理解していただき、次の行動を個別に伝えたりと対応してくださいました。 ・専門職も配置され、他の職員も理解あるように見受けられるので安心して預けられる。	今後もお子さん一人ひとりの特性や発達段階を踏まえた支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0	・面談の時間も時間に余裕を持って設定してくだり、子供の様子を丁寧に説明していただいています。 ・できたこと・今後の課題などを専門的な視点から的確に分析していただきました。 ・作業治療や心理治療アセスメントに達成度が分かりやすく説明してくれました。	今後もお子さんとご家族にご満足いただけるような個別支援計画の作成と、面談を心掛けてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	1	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	6	2	3	・個人的には、保育所や地域などで他のこどもの交流は重視しておりません。いつもと異なることに不安が高まりやすいこども自身の特性もあり、普段の教室で楽しく過ごせることが第一と考えております。今のままで十分だと認識しております。 ・いいえと回答させて頂きましたが、個人的な思想でいうと現状息子の年齢・発達からすると同年代との交流はそもそも難しく、それよりは勝手知ったる同士でやり取りできればと考えているので、あまり義務的に定型発達の子と関わる機会を設けなくても良いとは思っております。	1月に、教室のイベントに近隣の保育園をご招待して、同じ空間や遊びを共有することが出来ました。今後もいただいたご意見を踏まえ、より良い機会を提供出来るよう検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	1	0		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳で様子を詳しく伝えていただき、成長を喜んでくださったり関わり方を一緒に考えてくださったりと、いつも温かい言葉をいただきました。 ・いつも細かく様子を見てもらっており、詳しく伝えてもらっている。 ・連絡帳ベースですが細々お伝え頂きありがとうございます。こちらからの情報について色々足りないところがあるとはおもうので、提供するべき情報について都度連絡帳にてお知らせ頂けると幸いです。 	お子さんの様子がより伝わるような連絡帳を今後も心掛けてまいります。また、ご家庭の情報について伺いたい時には、ご連絡いたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の送迎の時など、よくこどもを見てくださっていることが伝わってきます。 ・連絡帳等で息子の小さな成功・成長を色々お伝え頂きありがとうございます。とてもうれしいです。 	今後も共感的な支援を心掛けてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親の交流の機会はあるが、きょうだいについては交流の機会はないと思う。 ・保護者懇親会などは十分に開催していただいていると思います。ただ、これは単純に私個人の問題なのですがもともと人を覚えるのが苦手であり、かつ普段直接教室へのお迎えをしていないので親子さんの情報・お名前が一致せずに機会を生かせず申し訳ない次第です…。 	きょうだい向けのイベントは実施しておりませんが、行事の際にはご家族皆さんでお楽しみいただけるよう工夫して実施しております。保護者の懇談会につきましては、いただいたご意見を踏まえ、内容や実施方法などを今後も検討していき、より良い会になるよう工夫してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・とても配慮されていると思います。 	今後も色々な方法でコミュニケーションがとれるようより良い方法を検討してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の行事予定や詳細な連絡は紙面ベースできちんと頂戴しており問題ないと思います。が、紙面のPDFデータを逐次取得できるなかから（googleドライブやドロップボックス、ないしコドモンのようなアプリ）があると利便性が上がるかとも思います。 	ICTの導入を検討しているところです。いただいたご意見を参考に、次年度に活かしていきたいと思っています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我ではないのですが、こどもが普段と違う動きをしていたら気づいて教えてくださったのですぐに病院に行き、事なきを得ました。とても助かりました。 	引き続き、お子さんの事故や怪我がないように今後も努めてまいりますと共に、事故や怪我が起こってしまった時には速やかにご連絡をいたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員さんの一人一人が子どもたちを大切に思いより良い成長を願いながら日々関わってくれているのが伝わってくる。本当に有難いことだと思う。 	今後も安心して通所してもらえるよう、環境設定や信頼関係の構築に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方と会うと親そっこのけで先生の方に行くので、大切にもらっているし本人も楽しみなのがわかる ・休み明けなどは、朝のお迎えの連絡がくるとやる気満々で外に出ているので、なんのののの楽しみにしているのだと思います。 ・つくしんぼ教室が大好きです。 	今後もお子さんがつくしんぼ教室への通所を楽しみにしてもらえるよう、日々の活動を充実させていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもに丁寧に接してくださり、こどもにとって安全な場所になっています。 ・すべての先生方が、子どもに対して常に安心感を持たせてくださり、発達の課題に合った支援をいただいていると思います。心から感謝しております。 ・いつも大変に助かっています。ありがとうございます。 ・日々大事なく過ごすことができ、少しずつ成長している実感があり大変満足しております。 	今後も保護者の皆様に満足いただけるよう、お子さんが楽しんで通所出来るような環境づくりの他、支援の質を高め、お子さんの成長と一緒に見守らせていただきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターやわた				公表日	令和8年 3月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	✓		活動ごとに部屋や場所を変えて、人数や活動内容に十分なスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	✓		お子さん一人ひとりに丁寧に対応できるように、職員の配置を加配しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	✓		お子さんが何をするのか分かりやすいように部屋ごとに構造化しています。	玄関や各部屋は段差のないバリアフリーですが、2階への移動手段が階段のみです。手摺りをつけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	✓				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	✓		必要に応じて、部屋を仕切って個室で対応することが出来ます。	複数のお子さんが必要な場合は、場所や人手の都合で確保が難しいこともあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	✓		毎日のミーティングや会議で振り返りを行っています。会議等に出られない職員には会議録を回覧するなどして情報を把握してもらうようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		保護者評価を実施し、保護者会で周知、回答し、改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		ミーティングや会議、面談等、様々な機会で職員の意見を吸い上げる機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		✓	第三者に評価をしてもらう機会は毎年設けていて、業務改善に繋げています。	公的な機関への第三者評価の依頼を検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	✓		外部研修や法人内での階層別研修、オンライン研修等、様々な研修を用意し、資質の向上を図っています。	パート職員も含めた研修の実施が難しい状況で、研修参加の機会が少なくなってしまうています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	✓		ホームページに公表されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	✓		保護者に意向調査表を記入していただき、保護者のニーズや一人ひとりの発達段階を踏まえて作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	✓		複数の職員で支援会議を行いながら、より適切な支援計画を作成するように努めています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	✓		毎月、個別支援計画を振り返り、計画に沿った支援が行われているかを確認しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	✓		発達検査等フォーマルなアセスメント以外にも、事業所独自のアセスメント表を作成し、使用しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	✓				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		✓		各グループの職員からプログラムを提案してもらい、週間プログラムに落とし込む作業は、担当スタッフが行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		✓	同じプログラムに繰り返し取り組むことで習熟度を上げること、内容を変えて新奇性を高めることの両立を目指しています。	よりお子さん達の興味や関心、目標に合わせた活動プログラムに、日々アップデートしていく必要があります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	✓		専門的支援との連携も図りながら、グループ活動と個別活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	✓		支援開始前後にはミーティングをしています。話し合った内容は書面に残し、勤務時間の違うパート職員にも周知しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	✓		同上。	時間が限られているため、話し合う内容については取捨選択が必要です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	✓			より必要性や実用性の高い情報を残すための記録の書き方については、検討が必要です。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	✓		6ヶ月に一度は見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	✓			セルフプランの利用者が多いため、機会や場の設定等は積極的に担う必要があります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	✓		保育園と併用しているケースが複数あるため、定期的な情報共有等の連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	✓		保育所等訪問支援等とも連携し、定期的に情報共有や相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	✓		スマイルプランを作成し、必要な情報を提供しています。その上で、直接引き継ぎを行う機会を設けるようにしています。	就学後に何かあった場合も、フォローするようにしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	✓			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	✓		外部研修の積極的な派遣を行っています。外部講師を事業所に招き、全職員を対象とした研修を行いました。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	✓			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	✓			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	✓			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	✓				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	✓				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	✓			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	✓			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	✓			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	✓			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	✓		今年度より法人でInstagramを開設しました。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	✓			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	✓		事業所に地域の保育園を招待し、交流会を実施しました。	頻度や内容について今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	✓			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	✓			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	✓			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		✓	保護者に医師の指示を伝達してもらい対応しています。	指示書の提出について検討します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	✓			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	✓			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	✓		毎日のミーティングと毎月の会議で振り返りを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	✓		現在対象となる利用児童はいませんが、体制整備は行っています。		